

第4回(5月27日) 学校教育の情報化に関する懇談会資料

日野市立平山小学校長 五十嵐 俊子

今回の自由討議は校務のため出席できませんので、前回2回のヒアリングに関係する事項について、文書にて次のことを話題として提供させていただきます。

1 デジタル教科書（アイデアはいろいろありますが、紙面の都合により要点のみ）

- (1) デジタル教科書が稼働する児童・生徒用情報端末（ハード面）
（富士通、シャープ、ソニー、アップルのヒアリングを聴いて）
- ・大きさはB5サイズ、LAN、ペン、カメラ、耐落下、防水
 - ・教員を目指す学生世代の声を参考にして設計

(2) デジタル教科書（ソフト面）

- （教科書協会、ソフトバンクのヒアリングを聴いて）
- ・現場教員、教科書執筆者の声を聞いて詳細の設計をすべき
 - ・デジタル教科書ビューアとコンテンツを独立させる（標準化）
 - ・デジタル教科書（コンテンツ&ビューア）+デジタルノート

2 校務支援システム

- （IBMのヒアリングを聴いて）
- ・クラウドコンピューティング等のシステム、体制の在り方を検討するためには、とくに管理・運用等に長けた人材を有しない小規模の教育委員会を対象とした試行が必要。
 - ・試行等の事業を実施する場合には、これまでは応募できなかったような小規模な教育委員会を対象とすべき

3 教員のICT活用指導力

- （インテルのヒアリングを聴いて）
- ・これから教員になる人材へのICT活用指導力の育成（教員養成）
 - ・現職教員へは、研修よりもむしろサポート体制の整備が鍵

4 特別支援教育とICT

- （瀬谷養護学校のヒアリングを聴いて）
- ・個別指導計画に対応できるコンテンツを提供できる仕組み（オーダメイド）

5 家庭学習

- （千歳科学技術大学のヒアリング聴いて）
- ・e-Learningによる家庭学習の単位認定（不登校児童・生徒対策）

6 サポート体制

- （ベネッセのヒアリング聴いて）
- ・ICT支援員の正規雇用（制度化）